

2025 年度 大学院秋季入試（教育学専攻）

博士課程（前期）

外国語科目 日本語

---

**【合否判定の方法】**

《外国語科目》《専門科目》《面接》

提出書類および外国語試験、専門科目、面接の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

**【合否判定の基準】**

提出書類および各試験の結果を総合的に評価し、研究計画の妥当性および博士課程における研究遂行能力を有しているかを判断する。

1 試験日 2024 年 10 月 12 日

2 科目 外国語科目 日本語 （100 点満点）

3 出題意図

出題意図

教育学専攻での大学院教育、修士論文作成において必要とされる日本語力を判定する。日本語文献において著者の論旨・意図を正確かつ迅速に読み取り、ポイントを押さえて要約し、誤字脱字なく適切な日本語表現・標記で記述できるか否かを判断する。

出典 小野寺拓也・田野大輔『検証 ナチスは「良いこと」もしたのか?』（岩波書店 2023）

4 問題文

**【問題】** 別紙の問題文は、『検証 ナチスは「良いこと」もしたのか?』（小野寺卓也・田野大輔、岩波書店、2023 年）の冒頭部分からの抜粋である。

[1] 著者の述べる歴史的視点の三層とはどのようなものか? それぞれ例を挙げて述べよ。

[2] 著者は「ナチスは良いこともした」という主張には「話せばわかってもらえる（かもしれない）」次元と「話してもわかり合えない（かもしれない）」次元の両方が含まれているとしているが、これらを[1]の三層に対応させて説明せよ。

※著作権上の理由により、過去問題につきましては公開しておりません。

以上